

## 議題提案書

### (1) 基本情報

議題種別	協議事項
議題名	「オファー型協力」における市民社会/NGO の参画のあり方について
提案者の氏名	棚田 雄一、
提案者の所属	NGO 側連携推進委員会
提案者の役職	委員 (副代表) 棚田、

### (2) 議題提案の背景

本会合では、「オファー型協力」における分野に「人間の安全保障」を加えること、3つの分野（1. GX・気候変動 2. DX・デジタル 3. 経済的強靱性の強化）に「人間の安全保障」の視点をより増強させること、「開発協力のプラットフォーム」のイメージについて提案し、「オファー型協力」への市民社会/NGO の参画のあり方について協議したい。

2023年6月に閣議決定した開発協力大綱のもと、2023年9月に開発協力の新たな方策として「オファー型協力」が打ち出された。戦略文書「オファー型協力を通じて戦略的に取り組む分野と協力の進め方『パートナーとの共創のためのオファー型協力』」では、国際社会が複合的危機に直面する中で、日本は「人間の安全保障」の理念に基づき国際的な協力を牽引すべき立場にあることがその前提として明示された。また、「オファー型協力」では、共創によって生み出された価値により、グローバルな危機への対応に連帯して取り組むこと、開発のプラットフォームに市民社会をはじめとする様々な主体と巻き込み、互いの強みを持ち寄り様々な協力を組み合わせることで、総合的な開発効果を最大化することを目指す述べられている。

開発協力大綱において、市民社会/NGO は、周縁に置かれた脆弱層のニーズに寄り添った、効果的かつ持続的な協力を進める専門を有する「戦略的パートナー」として新たに位置づけられている。「オファー型協力」においても、人間の安全保障の観点をより強調し、草の根で活動している市民社会/NGO との連帯をより有機的に進めていくことが必要であると考え、議題を提案したい。

### (3) 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

i) オファー型協力の分野として掲げられた（2023年6月現在）1. GX・気候変動 2. DX・デジタル 3. 経済的強靱性の強化に、4. 「人間の安全保障」を加えることの提案・協議

ア 複合的な危機の影響がより甚大な途上国への開発協力において、人間の安全保障を戦略的に取り組む分野に据えることが重要ではないか。

イ 市民社会/NGO が、戦略的パートナーとして参画することで、脆弱な人々に届く協力の推進

につながるのではないか。

- ii) 1. GX・気候変動 2. DX・デジタル 3. 経済的強靱性の強化に対し、「人間の安全保障」の視点をより強調させることの提案・協議

ア GX・気候変動においては、脆弱な地域・人々に対応する持続可能な気候変動対策が重要ではないか。

イ DX・デジタル においては、開発途上国のリソースに適合したデジタル化の推進が重要ではないか。

ウ 経済的強靱性の強化においては、サプライチェーンにおける、「ビジネスと人権」に関する行動計画の推進や経済活動の基盤となるコミュニティを構築することが重要ではないか。

これらを実現するために、市民社会/NGO が有する専門性・知見が活用できるのではないか。

- iii) 「開発協力のプラットフォームのイメージ」について提案・協議

ア 受益者と日本の市民社会をアクターに含める点について

イ 「共創を実現するための連帯」関係を示すために、ODA とその他様々な主体を別枠にせず、一つのプラットフォームとして示すことの意義について

ウ 戦略的パートナーとしての市民社会/NGO の位置づけについて

資料)

1. オファー型協力 4. 人間の安全保障
2. オファー型協力分野（1～3）において人間の安全保障の視点を強化
3. 多主体間の連帯に基づき、複合的危機を克服する国際協力のための開発協力プラットフォーム図

(4) 出席を希望する外務省部局または担当者

国際協力局 政策課長

以上